

「あなたの当たり前は、誰かの魅力かもしれない…」

大田原通信

大田原市移住・定住交流サロン通信

地元の良さ、再認識



大田原に住んでいる私たちが「当たり前」と思っていること…。それが移住してきた人にとっては「魅力」に感じられています。この通信では、そんな大田原の魅力について、毎月1回お伝えしています。

みんなで成長する 学び舎

ーヒカリノカフェ 蜂巢小珈琲店ー
社会福祉法人 エルム福祉会

かわかみ しょうこ

川上 聖子さん

田園風景が広がる蜂巢地区に、ステキなカフェがあることをご存知でしょうか？
名前は「ヒカリノカフェ 蜂巢小珈琲店」。2013年に閉校した蜂巢小学校を活用し、現在多くのお客様に親しまれています。今回はお店の施設長であり、市内に3店舗あるヒカリノカフェのゼネラルマネージャーでもある川上聖子さんにお話を伺いました。

●この仕事に就いた経緯

川上さんー「私の父と母が、前身である財団法人エルム会を始め、大田原市で初めて障がいを持った方の作業所を開きました。今の本町にあるヒカリノカフェの場所がそのスタート地点で、そこを手伝うところから、このお仕事が始まりました。」



ヒカリノカフェの皆さんと川上さん（一番左）

●小学校という学び舎に込めた思い

障がい者支援施設、高齢者施設などを運営中、2016年、ヒカリノカフェ2号店として蜂巢小珈琲店をオープンする。川上さんー「地元の人たちが大切にしていた学校なので、思い出を残しながらカフェをしていきたいと思っていました。卒業した方が来た時に、自分の思い出がいろんな所で感じられ、母校を大切にしていることが伝われば、地域の人たちも、食べに来てくださるお客さまも応援者になってくださるだろうと思いました。」



入口に掲げられた校章

●今も引き継がれる学び舎

川上さんー「売上げを上げることも大切ですが、一番大切なことは、障がいのある方も普通に多くの人たちと接点を持ち、理解してもらって、社会で一人前に育ってくれること。なので、ここでの地域の方たちの支えとお客さまの応援がすごくありがたい。「ありがとう」「おいしかった」という一言が、スタッフさん（※障がいを持っている方）にとっては希望であり、励ましで、それによってすごい成長を遂げています。そういった意味でも、ここは本当に学び舎ですね。」

●まごころが伝わる「おもてなし」

川上さんー「障がい者のカフェっていうのは前面に出していないんです。カフェに来てみたら障がいのある方が働いている。それで何か感じ取ってもらって、また来たいと思うかどうかはお客さまにお任せするところです。ただ、私たちがやれることを、今ここで精一杯やること。たどたどしくても、一生懸命おもてなしをしようとする心が、まごころとなってお客さまに響くんだと、私たちも学んでいます。」

●みんなが成長する魔法のことば「ありがとう」と「大丈夫」

川上さん「皆には「ありがとう」をとにかく発してくださいと伝えています。そうすると、職員（※エルム福祉会の職員）を真似て、スタッフさんが「ありがとうございます！」って言うんですよ。それがすごく良い循環になって成長していくような気がします。失敗しても「大丈夫、ありがとう」って。そうするとスタッフさんも安心しますよね。それから「ダメ」というのは絶対言葉に出さないで、肯定的な促す言葉を発してくださいということも徹底しています。スタッフさんはやれないことがいっぱいあるので。そうすると、使っている方も自然とダメ出しをしない人になります。」



一人ひとり、個性にあった仕事をするスタッフさん



●父や母から受け継いだ思いを繋げていく

川上さん「自分のためだけでなく、障がいのある人たちが光を浴びるようにという思いが強いから始めた事業なので、継承していくには職員もスタッフさんも育て、父や母の思いを繋げていく。私自身、これからはその働きをしていく必要があるかなと思います。」



hikari no café (ヒカリノカフェ) 蜂巢小珈琲店

大田原市蜂巢295

[TEL] 0287-54-2255

[OPEN] 11:30~17:00 (L.O.16:30)

[定休日] 日曜・月曜



「人の心は心でしか見れないから…それが言葉につながっていくのかな」という川上さんのお話にはハッとさせられた今回。日常に流され、意識することを忘れてしまいがちな言葉の使い方や、心のあり方を振り返る時間となりました。ヒカリノカフェ 蜂巢小珈琲店は、田園風景とコーヒーの香りに癒される空間であることはもちろん、いろんな気づきももらえる場所。みなさんも是非、足を運んでみてくださいね。(白井)

おおたわら

日曜朝市

毎月第4日曜日に開催!

野外ライブあり、新鮮野菜やクラフトの販売も!

[日時] 12月26日(日) 8:00~13:00

[場所] 山の手鍼灸整骨院駐車場/大田原市山の手1-6-3

[お問合せ] NPO法人ナチュラル/Tel: 0287-24-0999

※新型コロナウイルス感染症の状況により、延期させていただく場合がございます。



今月は
キッチンカー朝市!



8台が出店!

お知らせ



お持ちの空き家を活用しませんか?

空き家バンク

「空き家バンク」は、所有している空き家の情報を登録していただき、利用したい方に情報提供する制度です。

詳しくは下記の担当課にご連絡ください。

建築住宅課

Tel: 0287-23-1916

お問合せ

大田原市の移住相談窓口

大田原市移住・定住交流サロン

大田原市役所 総合政策部 政策推進課
大田原市本町1-4-1 大田原市役所A別館2階

Tel: 0287-23-8794

Mail: salon@ohtawara-ijyu.jp

大田原の暮らし、地域情報など発信中!



掲載したい情報をお寄せください!